

平成 28 年度 第 6 回静岡県作業療法士会 理事会議事録 (平成 29 年 2 月 11 日)

出席者：秋山、梶原、稲葉、岩井、大石、大庭、勝又、小林、齊藤、建木、林、村岡(理事:12名)、
小笠原、遠藤(監事:2名)、[高岡、小坂、成田、堀木、武内(書記)]

場 所：静岡県作業療法士会事務局(静岡市) 13:00~18:10

※【平成 28 年度 第 6 回理事会資料】<別紙資料>に順じて進行

【報告・審議事項】

1. 事務局会議、3 役会、予算審議委員会での報告事項(岩井事務長)

- 1) 選挙関連：役員選出規程の変更(第 11 条 2 項立候補者の宣伝活動、他)⇒承認
立候補者は宣伝文を必ず提出。
公示文書→選挙公報と宣伝文に掲載という文言を加えて承認
- 2) 公益法人定期提出書類の作成
 - ①当該事業年度の事業計画書②収支予算書③資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類
 - ④理事会承認を受けたことを証する書類(議事録)⑤かがみ文書 を 3/31 提出※新たな事業に関しては変更認定として申請が必要であり、公益目的事業の項目で説明できるか検討する必要がある。新たな事業計画がある部局は 3 月上旬までに勝又理事へ報告⇒該当なし
- 3) 会計関連
 - ①会計部門の流れ
 - ・平成 24 年決算期から行っていることを経時的にまとめ、年度毎に順を追って整理。(資料参照)
事務局員への仕事の切り出しも年単位で増量しているも、出納帳の突合作業は日中動ける職員に依頼したい。
 - ・現在会計ソフト ICS、決算書をエクセルに打ち直す作業を要するが、決算書が簡単にプリントアウトできるソフトがあれば購入も視野に入れている。(PCA 業者との連絡取りにくいことが現在の課題)
 - ②会計職員の雇用：小田巻氏へ打診中。3 月末に検討している方がいる。(岩井)
 - ③会計規定最終確認
「固定資産」の文言について定款に必要なか否か確認要す。(小林) 定款変更は絶対必要なのか、早急に必要なのか確認が必要。協会の規定はどうなっているか見ておいてほしい。小田巻氏が確認済みのため問題ないと思われる。(梶原) 小田巻氏は税理士なので以前見てもらったとはいえそこまで責任持つのか不明。(小林) 県の窓口では何も言わなかったため良いのではないか。(勝又) 取り急ぎ規定に載せ定款のことは確認(岩井)
- 4) 未納者：本日督促の案内を実施。今後収入増収。
- 5) 収支補正予算書：30 回学会は当該年度の収支に合わせるため 0 円となっている。年度をまたぐ事業は当該年度に収支を合わせるようになっている。
 - 平成 28 年度収支補正予算書
期首残高(16,514,048 円)今年度収益(17,657,320 円)、支出額(16,366,372 円)増減額(1,290,948 円)期末残高(17,804,996 円)
 - 平成 29 年度収支予算書
期首残高(17,804,996 円)収益見込み(17,483,100 円)、事業計画(19,462,036 円) -1,978,936 円

6) 事務所内の環境整備

- ①机(購入済み)、棚、衝立兼ホワイトボード(14万円)、PC 購入、office(購入済み)
- ②コピー機：6 年リースで 5 年目。現在 3 社(コニカ、京セラ、キャノン)より案内あり。
キャノンが有力(会議資料、研修会資料の作成等に特化) ⇒ ①②承認

7) 名刺作成：役員の名刺を今年度中に揃える(部長にも確認中)

2. 静岡県士会学会 進捗(斎藤理事)

1) 第 30 回(斎藤理事)

- ①学術局：演台数 53 演題、一部プログラム内容変更、学会誌の PDF 化を検討
- ②運営局：レセプション(各地区の余興、30 回記念等検討)
- ③事務局：広報戦略としてハッピーステージの取材(OT について、学会について)を行ったノベルティグッズとしてエコバックを検討中
- ④公開講座：講師を樹木希林氏、荒井昌子氏(混乱を避けるような対応を検討中)
ポスターは 3 月中を予定

2) 第31回(小林理事)

- ①組織：学会長 小林理事、実行委員長 大石理事、事務局長 伊井氏、学術局長 串田氏
運営局長 大塚氏、顧問 岡庭理事
- ②学会テーマ：「気づいて築く ～可能性を試行錯誤する～」
- ③開催日：6月9-10日、6月16-17日で検討中
- ④会場：第1候補：クランシップ 第2候補：清水テルサ
- ⑤会費：5,000円(実行委員の会費割引や1日参加者の参加費減額を検討)
⇒30回学会の反応をみて判断

3. 第4回47都道府県委員会報告(秋山会長) ※協会と士会の連動性の強化を目指している。

- 1) 中村会長より：
 - ・熊本震災の保証手続き開始
 - ・平成29年4月地域支援事業開始(国から自治体主導。各士会のフォローを)
 - ・会員管理システムで全ての士会とつながった。今後会費一括納入など検討
 - ・MTDLP等の推進で活動や参加にばかり目が向き心身機能への視点が薄れているOTが増えている。バランスのとれたアプローチが必要。
- 2) 47都道府県委員会の機能の確認
- 3) 組織強化 組織強化WG
- 4) 「士会員=協会員」に向けて
- 5) 次世代リーダー育成研修について
- 6) パイロット事業・モデル事業
- 7) 平成27年度パイロット事業普及活動
- 8) 平成29年度モデル事業の進め方
- 9) MTDLP委員会より報告：基礎研修修了者：32%、実践者研修修了者：6%(全国)
- 10) 「学校作業療法士」現状報告と今度の取り組み制度対策部より
- 11) 災害対策室より現状報告と今度の取り組み
- 12) 認知症関連 認知症WG
- 13) 地域OT支援関連 地域OT支援WG
- 14) 協会からのアンケート
- 15) その他

4. 次年度の総会に向けての準備(代行：武内)

- 1) 議案集(年度報告と計画案)の書き込み開始(3/17 書込一旦締め切り)
- 2) 総会運営：例年通りの方法で検討
- 3) 委員選出：中部・西部の地区理事より選出。それぞれの選出人数を理事メールで依頼

5. 静岡県リハビリテーション専門職団体協議会

- ・組織編成について(1月に報告会開催)
静岡JRATと災害対策委員会は別組織⇒詳細を3/11臨時会議で検討、
訪問リハ委員会：組織として運営や実務を進めるのが煩雑になっている。
地域包括、広報(HP、リーフレット)

6. 静岡県作業療法士連盟設立の進捗(稲葉理事)

- ・設立とパーティーの時期を明確にしてほしい → 熊谷連盟会長に打診中。
- ・PT県連盟はOT連盟との協定に前向き。

7. 他団体からの依頼、委員の推薦等の確認(事務局)

- ・富士リハビリテーション専門学校卒業式(3/8)代理出席 → 梶原・三井副会長で検討

8. 県士会表彰規定の見直し ⇒ 承認

- ・山本氏より個人ではなく団体として表彰を受けたいとの申し出があった。(大庭)団体への表彰については、県士会会員という条件があるので個人への表彰としていきたい。(小坂)
- ・平成29年度県士会表彰2名(内藤由美子氏、山本晃弘氏)及び西川達也氏も追加表彰(県士会広報部等でホームページ関連、静作原画作成で貢献) ⇒ 承認
- ・規定の変更について事前に広報すべき(5月広報誌で掲載予定)(梶原)

9. その他

1) 特別支援教育関連（発達障害 SIG より検討依頼あり）

重点課題に挙げ窓口設置を検討。WG への発展等どう進めていくか（秋山）。一つの委員会として動きたい意向があるが単一 SIG だけ特別委員会を設けるのはどうか（大庭）。担当理事を設けて理事を主導として 組織編制など検討を進める（岩井）。

地域活動推進部の中に認知症と精神障害領域が入っているため組織としては地域活動推進部で。

2) 学術部研修会（SIG 勉強会）参加費について

一律参加費 3,000 円で学術部の活動として統一したい意向あり。

⇒各 SIG のテーマ（ディスカッション形式の研修等）もあるため一律は運営しにくい。（秋山）

公益法人として運営上利益を出さず部局でなくても良いため各 SIG の裁量で良いのでは。独立採算・公益事業としての意識で決めていってはどうか（岩井）。

【各部報告】

1. 渉外部（秋山会長）：渉外活動等実施（詳細は理事会資料参照）

2. 都道府県連絡協議会（岡庭理事）：紙面報告

懸案事項については、11 月開催の東海北陸学会（愛知県）時の会長会で検討

3. 制度対策部（梶原副会長）

3 月 5 日研修会（静岡市）開催：現在 17 名（定員 30 名）声掛けをお願いします。

4. 調査部（大庭理事）：過去学会アンケートデータ集計中

5. 学術部（三井副会長）：紙面報告

学生の研修会参加について

養成校の意見：学校で研修会が開催されたり会場が同じ地区であれば安価な会費で参加

仮会員（学生会員）のような立場、参加証明証の発行

ディスカッションなどで学生がいると不具合がある場合もある

申し込み方法の検討（学生が直接申し込み参加者一覧を教員が確認できる仕組み）

案内や周知（HP に学生ページ→バナー作成の方法はある）方法

研修会運営の負担が増えない程度に教員も関わるべき

6. 教育部（村岡理事、稲葉理事）

1) MTDLP

・事例報告において静岡県で合格者が出ていない。書き方講座の開催を検討。

→書き方講座を県独自で動いて良いか。現状踏まえて協会の対応を待った上で展開するべき。（梶原）全ての OT が使えるツールのはずだが、事例報告の採択率が低い。

・MTDLP の研究事例として 2 事例協会に挙げる。

・2 月 19 日の基礎研修会の参加者数少ない。出席の呼びかけをお願いします。

・来年度から各部局で手帳の押印作業を依頼

・現職者研修事例報告会から学会発表へつなげるために、抄録書式統一や報告会日程調整を検討。

・各地区理事と施設代表者が県士会の動きを知ってもらう活動を検討

→各地区管理できる人材が必要。協会が会員管理システムについて機能できるよう検討。

7. 事業部：（建木理事）

・出前講座：平成 29 年 2 月 17 日清流館高等学校にて開催

8. 地域活動推進部（林理事、建木理事）

1) モビリティWG：静岡中部自動車運転関係者連絡会開催（1/27）

静岡県警察本部（鈴木りえ子氏）より東部地区での連絡会の有無の質問。また、

OT 対象とした免許センターでの評価の見学の機会を設けてくれる提案あり。

→協会の運転と作業療法委員会にも携わっている。各組織のすみ分けを行い関わっていく。（建木）協会制度対策部より運転に関する作業療法士の指針の確認依頼あり。

→自動車の最新装置や機能など進化している部分についてのトピック的な研修会も必要（秋山）運転の評価のみでなく、運転全般の知識も必要

2) 圏域代表者・市区町代表者・各地域包括支援センター担当者選出

⇒3 団体協議会菊池氏（PT）に提出した名簿も参考に選出

3) 平成 29 年度地域活動推進部研修会：地域活動推進部の活動報告、実践者報告、特別講演

4) 体制検討：精神科・認知症・モビリティそれぞれの WG の人材育成のための研修会の開催

地域包括ケアシステムへの参画：ネットワーク会議等出席者の集約が必要

【地区活動報告】

①東部（大庭理事）：特になし

②中部（大石理事）：代表者選出について：ネットワークの少なさあり、今後相談していく。

③西部（稲葉理事）：特になし

9. 広報部（大石理事）

- ・外向き広報誌は Dropbox で確認依頼。
- ・カルタと連動し外向き広報誌を作成予定
- ・カルタ：予算が協会の事業費用より 2 万円オーバー（説明文作成のため）3 月に印刷完了予定
- ・ホームページのシステム変更は協会の会員管理システムの全容が明らかになってから検討していく。
- ・クックパット（部員のつながりあり）と事業連携することでコスト削減などメリットあり（要検討）

10. 福利部（齋藤理事）：第 30 回学会（キッズスペース、レセプション）への参画

11. 静岡県リハビリテーション専門職団体協議会

1) 地域包括ケアシステム・介護予防関連（林理事）

リーダー導入研修会：29 年度も継続（県からの予算あり）

2) 災害対策委員会（村岡理事）

協議会と JRAT の合同会議

任意団体だと寄付に対するの管理など大変。NPO などの組織にした方がやりやすい。（建木）

掛かる費用の項目も挙げられると良い。（梶原）

3) 訪問リハビリテーション連絡委員会（齋藤理事）

訪問リハの啓発と質の向上に注力し始めている。

12. 事務局：前頁参照

13. その他：

【次回】

臨時理事会日程（候補日）：3 月 25 日、26 日

※会計、新人オリエンテーション準備、総会準備

平成 28 年度理事会開催予定日および開催日

	開催日・候補日		備考	主な行事
第 1 回	4 月	24 日（日）	新人オリエンテーション時	
第 2 回	6 月	11 日	部長会開催	6 月 18 日 PT 県学会
第 3 回	8 月	6 日	納涼会	
第 4 回	10 月	15 日		
第 5 回	12 月	3 日	拡大理事会、忘年会	
第 6 回	2 月	11 日	ヒヤリング	25 日 リハ懇
臨時理事会	3 月	25 日（土） or 26 日（日）	年度末の会計	